

## 経済取引等デジタル化推進宣言

令和6年2月8日白河商工会議所において、経済取引等デジタル化推進宣言式が行われた。

宣言式には白河地区税務関係団体協議会会長・小野利廣氏（公益社団法人白河法人会会長）、白河税務署管内青色申告会連合会会長・櫻井和朋氏、東北税理士会支部長・佐藤俊彦氏、白河商工会議所会頭・鈴木俊雄氏、福島県南地区商工会連絡協議会会長・古橋博氏、福島県酒造組合白河支部支部長・大谷浩男氏、白河小売酒販組合理事長・鈴木克己氏、白河間税会会長・鈴木俊雄氏（当日は副会長藤田光夫氏出席）、白河信用金庫理事長・牧野富雄氏（当日は常務理事大高健造氏出席）、福島県南地方振興局局長・伊藤智樹氏（当日は県税部長寺内博之氏出席）が推進の宣言者となり白河税務署長・五傳木達雄氏へ宣言書を手渡した。

デジタル化推進の内容としては、これまでの「納税者の利便性の向上」「課税・徴収事務の効率化・高度化」に、新たに「事業者のデジタル化促進」を加え、税務を起点とした社会全体のDXを推進することを表明しました。

特にe-Taxの利用促進、キャッシュレス納付の利用拡大、デジタルインボイスの普及、電子帳簿保存法の定着を目指すとともに、一層の普及に向けて推進していくことを宣言した。

